建築構造力学演習A

Exercises in Structural Mechanics A

〇 〇 〇 〇 授業計画・概要 テーマ 概要 学習	いで せいじ 数員連絡先	4 【ましく,建築 とによって理 G ト	楽構 造
教員連絡先 (研究室所在地・TEL) 吹田キャンパス S1棟7階725室 電話: 06-6879-7653 E-MAIL アドレス 履修対象 mukaide@arch. eng. osaka-u. ac. jp 運修対象 建築工学コース (2年次) 単位 2 セメスター 4 受講条件 構造力学基礎,構造力学基礎演習を修得していることが望ましく,建築が力学 A を履修していること. 建築構造力学 A の講義内容について,演習問題を解くことによって理想を解析目標との関連 学習・教育目標 A B C D E F G H O O O O O O O O O O O O O O O O O O	教員連絡先	ましく, 建築 とによって理 G ト 学習	里解す
(研究室所在地・TEL) 電話: 06-6879-7653 E-MAIL アドレス	(研究室所在地・TEL) 電話: 06-6879-7653 E-MAIL アドレス mukai de@arch. eng. osaka-u. ac. jp 建築工学コース(2年次) 単位 2	ましく, 建築 とによって理 G ト 学習	里解す
E-MAIL アドレス mukai de@arch. eng. osaka-u. ac. jp 履修対象 建築工学コース (2年次) 単位 2 セメスター 4 受講条件 構造力学基礎,構造力学基礎演習を修得していることが望ましく,建築行力学 A を履修していること. 建築構造力学 A の講義内容について,演習問題を解くことによって理行る. 授業の教育目標 A B C D E F G H O O O O O O O O O O O O O O O O O O	E-MAIL アドレス 履修対象 mukaide@arch. eng. osaka-u. ac. jp 運修対象 建築工学コース (2年次) 型位 2 セメスター 受講条件 構造力学基礎,構造力学基礎演習を修得していることが望力学 A を履修していること. 授業の教育目的・目標 他科目との関連 建築構造力学 A の講義内容について,演習問題を解くこの。 学習・教育目標 A B C D E F O O O O O O O O O O O O O O O O O O	ましく, 建築 とによって理 G ト 学習	里解す
履修対象 建築工学コース(2年次) 単位 2 セメスター 4 受講条件 構造力学基礎、構造力学基礎演習を修得していることが望ましく、建築・力学 A を履修していること。 建築構造力学 A の講義内容について、演習問題を解くことによって理ける。 授業の教育目的・目標他科目との関連 A B C D E F G H G P G P G P G P G P G P G P G P G P	関係対象 建築工学コース(2年次) 単位 2	ましく, 建築 とによって理 G ト 学習	里解す
単位 2 セメスター 4 受講条件 構造力学基礎、構造力学基礎演習を修得していることが望ましく、建築・力学 A を履修していること。 授業の教育目的・目標他科目との関連 建築構造力学 A の講義内容について、演習問題を解くことによって理ける。 学習・教育目標 A B C D E F G H O O O O O O O O O O O O O O O O O O	単位 2 セメスター 受講条件 構造力学基礎、構造力学基礎演習を修得していることが望力学 A を履修していること. 授業の教育目的・目標他科目との関連 建築構造力学 A の講義内容について、演習問題を解くこの表面、 学習・教育目標 A B C D E F O O O O O O O O O O O O O O O O O O	ましく, 建築 とによって理 G ト 学習	里解す
受講条件 構造力学基礎、構造力学基礎演習を修得していることが望ましく、建築・力学 A を履修していること。 授業の教育目的・目標他科目との関連を習・教育目標 企業構造力学 A の講義内容について、演習問題を解くことによって理解を表します。 学習・教育目標 A B C D E F G H O O O O D D D D D D D D D D D D D D D	受講条件 構造力学基礎、構造力学基礎演習を修得していることが望力学 A を履修していること. 「理楽構造力学 A の講義内容について、演習問題を解くこれを関連を習・教育目標 A B C D E F O O O O O O O O O O O O O O O O O O	ましく, 建築 とによって理 G ト 学習	里解す
力学 A を履修していること。 授業の教育目的・目標他科目との関連 建築構造力学 A の講義内容について,演習問題を解くことによって理例表。. 学習・教育目標 A B C D E F G H O O O O O O O O O O O O O O O O O O	力学 A を履修していること。 授業の教育目的・目標 建築構造力学 A の講義内容について、演習問題を解くこの	とによって理 G ト 学習	里解す
授業の教育目的・目標他科目との関連 建築構造力学 A の講義内容について、演習問題を解くことによって理する。 学習・教育目標 A B C D E F G H O O O O O O O O O O O O O O O O O O	授業の教育目的・目標 他科目との関連 学習・教育目標 A B C D E F O O ● O O ● O O O O O O O O O O O O O O	G H 学習	
他科目との関連 る. 学習・教育目標 A B C D E F G H O O O O O O O O O O O O O O O O O O	世科目との関連	G H 学習	
学習・教育目標 A B C D E F G H 授業計画・概要 テーマ 概要 学習育目 静定ラーメン(4回) 静定ラーメンの曲げモーメント分布とせん断力分布を解析するための基本的な知識を身に付ける(包括4回) BD 断面内応力度の合成(3回) 軸力と曲げモーメントを受ける断面の軸方向応力度分布を計算するための基本的な知識を身に付ける(包括1回). 更に、軸力と曲げモーメントの相関関数を得るための専門的な知識を身に付ける(高度2回). BD 部材の伸びとたわみ(3回) 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基本的な知識を身に付ける(包括2回). 更に、弾性曲線式やモールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身に付ける(高度1回). BD	学習・教育目標	学習	Н
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	日	学習	Н
授業計画・概要	接業計画・概要		
静定ラーメン(4 静定ラーメンの曲げモーメント分布とせん断力分布を B D	静定ラーメン(4 静定ラーメンの曲げモーメント分布とせん断力解析するための基本的な知識を身に付ける(包断面内応力度の合成(3回)		
静定ラーメン(4 回) 静定ラーメンの曲げモーメント分布とせん断力分布を 図 所面内応力度の合 離力と曲げモーメントを受ける断面の軸方向応力度分 成(3回) 布を計算するための基本的な知識を身に付ける(包括 1回). 更に, 軸力と曲げモーメントの相関関数を得る ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわ み(3回) 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基本的な BD 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲線式やモールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身に付ける(高度1回).	回) 解析するための基本的な知識を身に付ける(包 断面内応力度の合成(3回)	_	習・教
回) 解析するための基本的な知識を身に付ける(包括4回) 断面内応力度の合成(3回) ・	回) 解析するための基本的な知識を身に付ける(包 断面内応力度の合成(3回)	育	目標
断面内応力度の合成 (3回) 軸力と曲げモーメントを受ける断面の軸方向応力度分	断面内応力度の合成(3回) 軸力と曲げモーメントを受ける断面の軸方向応布を計算するための基本的な知識を身に付ける1回). 更に,軸力と曲げモーメントの相関関数ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわみ(3回) 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基知識を身に付ける(包括2回). 更に,弾性曲約ールの定理を用いた計算についての専門的な知に付ける(高度1回). 1次不静定構造物を対象に,応力分布と変形を物(2回) ための専門的な知識を身に付ける. (高度2回)をがである。 (高度2回)をができます。 (3回) 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本では、(3回) 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本では、(3回) 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本では、(3回) を対して、(高度2回)を対しで、(高度2回)を対して、(高度2回)を対して、(高度2回)を対して、(高度2回)を対して、	カ分布を BD	D
成(3回) 布を計算するための基本的な知識を身に付ける(包括 1回). 更に、軸力と曲げモーメントの相関関数を得る ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基本的な み(3回) 知識を身に付ける(包括2回). 更に、弾性曲線式やモールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身に付ける(高度1回).	成(3回) 布を計算するための基本的な知識を身に付ける 1回). 更に、軸力と曲げモーメントの相関関数 ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基 み(3回) 知識を身に付ける(包括2回). 更に、弾性曲約 ールの定理を用いた計算についての専門的な知 に付ける(高度1回). 簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に、応力分布と変形を 物(2回) ための専門的な知識を身に付ける.(高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本 (3回) 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本 (3回) 振き身に付ける(包括1回). 更に、構造物を角 ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 []	2括4回)	
1回). 更に, 軸力と曲げモーメントの相関関数を得るための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基本的な B D 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲線式やモールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身に付ける(高度1回).	1回). 更に、軸力と曲げモーメントの相関関数ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基 知識を身に付ける(包括2回). 更に、弾性曲約 ールの定理を用いた計算についての専門的な知に付ける(高度1回). 簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に、応力分布と変形を物(2回) ための専門的な知識を身に付ける. (高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本(3回) 織を身に付ける(包括1回). 更に、構造物を例ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 I」	志力度分 B D	DE
ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基本的な B D 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲線式やモールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身に付ける(高度1回).	ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲約 ールの定理を用いた計算についての専門的な知に付ける(高度1回). 簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に, 応力分布と変形を物(2回) ための専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を を していての専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を で していての専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を で していての専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を で していての専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を で していての専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を で していての専門のな知識を身に付ける.(高度2回)を で していての専門のな知識を身に付ける.(高度2回)を で していていての専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を で していていての専門のな知識を身に付ける.(高度2回)を で していていていていていての専門的な知識を身に付ける.(高度2回)を で していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	る(包括	
部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基本的な B D 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲線式やモールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身に付ける(高度1回).	部材の伸びとたわ 曲げを受ける部材のたわみを計算するための基 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲線 一ルの定理を用いた計算についての専門的な知 に付ける(高度1回). 簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に, 応力分布と変形を物(2回) ための専門的な知識を身に付ける. (高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本(3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に, 構造物を角 ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 []	数を得る	
み(3回) 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲線式やモールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身に付ける(高度1回).	み(3回) 知識を身に付ける(包括2回). 更に, 弾性曲線 ールの定理を用いた計算についての専門的な知に付ける(高度1回). 第単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に, 応力分布と変形を物(2回) ための専門的な知識を身に付ける. (高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本(3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に, 構造物を角ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 []).	
ールの定理を用いた計算についての専門的な知識を身 に付ける(高度1回).	一ルの定理を用いた計算についての専門的な知 に付ける(高度1回). 簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に、応力分布と変形を 物(2回) ための専門的な知識を身に付ける。(高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本 (3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に、構造物を角 ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 I」	基本的な BD	D
に付ける(高度1回).	に付ける(高度1回). 簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に、応力分布と変形を物(2回) ための専門的な知識を身に付ける。(高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本(3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に、構造物を角ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 []	線式やモ	
	簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に、応力分布と変形を物(2回) ための専門的な知識を身に付ける。(高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本(3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に、構造物を角ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 []	知識を身	
簡単な不静定構造 1次不静定構造物を対象に、応力分布と変形を求める BD	物(2回) ための専門的な知識を身に付ける。(高度2回) 仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本 (3回) 識を身に付ける(包括1回)。更に、構造物を角ための専門的な知識を身に付ける(高度2回)。 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 []		
	仮想仕事の原理 仮想仕事の原理を用いた計算をするための基本 (3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に, 構造物を角ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 []	を求める BD	D
物(2回) ための専門的な知識を身に付ける. (高度2回)	(3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に, 構造物を角 ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習」」	1)	
	(3回) 識を身に付ける(包括1回). 更に, 構造物を角 ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習」」		
	ための専門的な知識を身に付ける(高度2回). 教科書 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 I 」		D
	教科書中村恒善編著「建築構造力学図説・演習Ⅰ」		
<u> </u>			
参考図書・文献等 中村恒善編著「建築構造力学図説・演習 II」			
成績評価方法・評価基準 D, Eについては、演習レポートで評価する(80%).	成績評価方法・評価基準 D, Eについては、演習レポートで評価する(80%).		
Bについては、出席態度により評価する(20%).			
ナフィフマロー 陸時 o-moilにて対応	オフィスアワー 随時 e-mail にて対応		
カフィヘアソー 随時 t=llid I I に C 対心	コメント		